

仕 様 書

1. 件 名 2024年度放送大学研究年報（第42号）編集及び印刷製本
2. 名 称 放送大学研究年報 第42号
JOURNAL OF THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN Number 42, 2024
3. 数 量 本体 450部
抜刷 420部（14編×30部）
4. 納入期限 令和7年3月31日（月）
5. 納入場所 放送大学附属図書館（千葉県千葉市美浜区若葉2-11）
6. 検 査 発注者は、物品の納入後に検査を行うものとする。
7. 代 価 検査終了後、適正な請求書を受理した日から40日以内に支払うものとする。
8. 原 稿 原稿は、本学担当職員から電子媒体及び紙媒体で提供する。
別途、提供する論題等を記した別紙「放送大学研究年報（第42号）執筆者及び論題一覧」により、論題等を確認すること。
9. 仕 様
 - (1) 規 格 A4版
 - (2) 頁 数 表紙 4頁
本文 170頁
 - (3) 色 数 本体表紙：表2色 裏1色
本体本文：1色（カラー4色）
抜刷表紙：1色
抜刷本文：1色（カラー4色）
 - (4) 用 紙 本体表紙：アートポスト A1判 (139kg)
本体本文：クリームキンマリ A1判 (36.5kg)
抜刷本文：クリームキンマリ A1判 (36.5kg)
「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める印刷用紙の「判断基準」を満たすこと。ただし、当該「判断の基準」を満たす製品を納入することが困難な場合には、担当係員の了解を得た場合に限り、代替品の納入を認める。
（その場合は「別紙2-1 資材確認票」を提出のこと。）
 - (5) 製 本 本体、抜刷とも無線綴じ

- (6) 構成 表表紙 → 標題紙 → 目次(原論文) → 欧文目次
 → 横書き本文(要旨は本文の前、欧文→和文の順) → 白紙
 → 縦書き本文(和文要旨は本文の前、欧文要旨は本文の後)
 → 縦書き本文用目次 → 奥付 → 裏表紙
- ・ 論題ごとに改ページし、右ページ(縦書きは左ページ)から始めること。
 - ・ 原稿は紙出力のものを本原稿とする。
 - ・ 作成フォーマットは、サンプルを提供するので、それを参考とすること。
 - ・ 外国語に関してはジャスティファイ(行末揃え)とするが、ハイフネーションについては著者に確認すること。
 - ・ それぞれ本文の前に要旨(和文)並びに Abstract(欧文)が入るので、原稿を確認すること。
 - ・ その他不明なことは、別紙の「放送大学研究年報(第42号)執筆者及び論題一覧」により、随時著者と連絡を取り合い確認すること。
- (7) 組版 項付 全体を通して左開き本文から項付けする。
 なお、縦書きは右開き本文からも括弧付きで項付けする。
- 活字 本文 : 和文、欧文共に13ポイントとする。
 要旨、注、参考文献: 和文、欧文共に12ポイントとする。
 脚注 : 11ポイントとする。
- 柱 横書き: 左ページ著者名、右ページ題名
 縦書き: 左ページ題名、右ページ著者名
 本文 : 横書き、縦書きとともに二段組とする。
 要旨 : 横書きは一段落とする。縦書きは縦書き本文(二段組の上一段)の高さに合わせるものとする。
- 図 トレースすること。
- (8) 校正 表紙 色1回
 本文 文字3回
- ・ 出校においては再校までは著者に直接送付し、三校(全てが揃ったゲラ)を放送大学附属図書館に提出して校了をとること。
 - ・ 初校時には、本編の編集と本編以外の柱、項目等のフォーマットを統一したものを提出すること。

10. その他

- (1) 請負者は、納入までのスケジュール作成及び管理を行うこと。
- (2) 成果物として、製本された冊子及びPDF形式に変換したデータ一式をCD-Rで納入すること。
- (3) 納入方法等については、本学担当職員の指示に従うこと。
- (4) 製造物全ての著作権・版権は本学に帰属するものとし、請負者等は本学の指示又は許可なく業務上の成果物を使用してはならない。
- (5) 本仕様書に定めのない事項及び本契約の履行において疑義が生じた場合は、その都度本学担当職員と協議のうえ、その指示に従うものとする。

以上

作成年月日： 年 月 日

御中

件名：

資 材 確 認 票

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文					
	表紙					
	見返し					
	カバー					
インキ類						
加工	製本加工					
	表面加工					
	その他加工					
その他						

↓

使用資材	リサイクル適性	判別
Aランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	
AまたはBランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
CまたはDランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考) 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
- 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
- 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

作成年月日： 年 月 日

御中

件名：

資 材 確 認 票

〇〇印刷株式会社

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	表紙	○	A	コート紙	〇〇製紙／〇〇	
	見返し	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	カバー	—	—			
インキ類		○	A	平版インキ	〇〇インキ／〇〇	
加工	製本加工	○	A	PUR 系ホットメルト	〇〇化学／〇〇	
	表面加工	○	A	OP ニス	〇〇化学／〇〇	
	その他加工	—	—			
その他						

↓

使用資材	リサイクル適性	判別
A ランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	○
A または B ランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
C または D ランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考） 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
- 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
- 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

2024年度放送大学研究年報(第42号) 執筆予定者及び論題一覧

(掲載順)								
	氏名 (コース・部門)	連絡先 連絡事項	共著者	論題	縦 横	種類	刷り上り頁数 (掲載時)	頁数 計
1	奈良 由美子 教授 (生活と福祉)	narayumi@ouj.ac.jp	稲村哲也 高橋博文 ハタン・ソリグ オトゥゴンツェツェク スヘー・バートルガ	放送大学におけるモンゴル国立大学教職員の研修受け入れ	横	論文	和文 22 頁 (図 50 枚) (表 0 枚) カラー印刷あり 図・写真7枚2頁分	22
2	奈良 由美子 教授 (生活と福祉)	narayumi@ouj.ac.jp	石井祥子 鈴木康弘 稲村哲也 スヘー・バートルガ ビャンバジャブ・ナラ マンダハ	JICA草の根技術協力事業「モンゴルにおける地球環境変動に伴う大規模自然災害への防災啓発プロジェクト」の成果と今後の展開	横	論文	和文 20 頁 (図 1 枚) (表 1 枚) カラー印刷あり 図・写真7枚4頁分	42
3	山田 知子 教授 (生活と福祉)	tmk-yamada@ouj.ac.jp NQG39405@nifty.com		救護法成立・施行過程における社会事業調査の意義に関する研究 ー明治20年代から明治末期に実施された細民調査を手掛かりにー	横	論文	和文 33 頁 (図 枚) (表 2 枚)	75
4	橋本 朋広 教授 (心理と教育)	tomohiro-h@ouj.ac.jp		心理療法における相互変容モデル	横	論文	和文 28 頁 (図 15 枚) (表 枚)	103
5	佐藤 仁美 准教授 (心理と教育)	h-satoh@ouj.ac.jp		反復表現の意味をめぐって	横	論文	和文 10 頁 (図 枚) (表 枚)	113
6	波田野 茂幸 准教授 (心理と教育)	s-hatano@ouj.ac.jp		就学相談員の保護者面談における観点について ー生態学的視点に注目してー	横	論文	和文 25 頁 (図 5 枚) (表 枚)	138
7	大橋理枝 教授 (人間と文化)	ohashiri@ouj.ac.jp		車椅子から「特権」を考える	横	論文	和文 11 頁 (図 枚) (表 枚)	149
8	橋本鉦市 教授 (心理と教育)	ko.hasimoto@ouj.ac.jp		「教育産業」の業務内容とその自己認識 ー meta description の内容分析 ー	横	研究 ノート	和文 11 頁 (図 3 枚) (表 3 枚)	160
9	村松 健司 教授 (心理と教育)	k-muramatu@ouj.ac.jp	坪井 瞳 保坂 亨	児童養護施設入所児の保育所利用等の二重利用について	横	研究 ノート	和文 6 頁 (図 枚) (表 1 枚)	166
10	橋本 健朗 教授 (自然と環境)	hashimoto-kenro@ouj.ac.jp	宮本陽一郎 佐藤 智徳 芝崎 順司 森本 容介 辻 靖彦 隈部 正博 滝澤 登 伊東 明彦 猪嶋 哲也 工藤 元 川村 千夏 筒井 友恵 谷平 泰晃 近藤 智嗣 加藤 和弘 林 徹	放送大学に相応しいリメディアル教育の実践的研究 ーオンライン学習グループの試みー	横	研究 ノート	和文 17 頁 (図 枚) (表 1 枚) 写真 1	183

	氏名 (コース・部門)	連絡先 連絡事項	共著者	論題	縦 横	種類	刷り上り頁数 (掲載時)	頁数 計
11	近藤 智嗣 教授 (情報)	tkondo@ouj.ac.jp	相良 たまみ	放送大学におけるAIトランスフォーメーションの可能性	横	研究 ノート	和文 8 頁 (図 10 枚) (表 2 枚)	191
12	松井哲男 教授 (自然と環境)	t.matsui@ouj.ac.jp		福沢諭吉『人生の楽事』(現代語訳)	横	その他※ 現代 語訳	和文 4 頁 (図 枚) (表 枚)	195
13	松井哲男 教授 (自然と環境)	t.matsui@ouj.ac.jp		[解題にかえて] 『人生の楽事』と福沢諭吉の物理学	横	解説	和文 6 頁 (図 枚) (表 枚)	201
14	森 津太子 教授 (心理と教育)	mori@ouj.ac.jp	高橋 秀明 進藤 聡彦 向田 久美子	放送大学における心理学実験実習科目の現状と課題	横	資料	和文 17 頁 (図 10 枚) (表 2 枚)	218

執筆要領

原稿枚数：刷り上りで16頁以内（図表等を含む）

<参考（文字数のめやす）>

和文の場合1頁当たり最大で、24文字×53行×2段（2,544文字）

欧文の場合1頁当たりおよそ410語×2段（820語）